

STRIVE FOR



瀬戸SOLAN学園初等中部
2026年度第5学年 学年通信
第10号 7月8日発行

「だれかを巻き込む前に、まずは自分たちから。」

現在、5年生のチーム探究では、「よりよいSOLAN・East棟を目指そうプロジェクト！」に取り組んでいます。よりよいEast棟のために、最高学年として自分たちが取り組めることを考えて実践することを目指しています。これまで、よりよいEast棟に向けて、どのような学校を目指していきたいか、具体的に何ができるのか話し合いを重ねていきました。

第2クォーターを迎えた今、「学校全体の前に、まずは私たち5年生がより成長するために何ができるのか」を考えて活動しています。きっかけは、第1クォーター最後の授業にありました。East棟での達成したい目標に対して、「自分がどれだけでできていると思うのか」と振り返った時に、活動の主体であるはずの5年生自身ができているものがあると、彼らが気付いたのです。

1クォーターの当時の振り返り（一部抜粋）

「改めて自分たちのできないことの多さが目の前に突きつけられた気がして少し悲しかったです。ですが、この一年のプロジェクトを通してできるようになりたいと思いました。」

「やっぱり人間関係も精神面も全部ダメだなと思いました。自分も頑張って変えないとと改めて思いました。」

「だれかを巻き込む前に、まずは自分たちから。」

この気づきが今の原動力となり、活動を支えています。前回の話し合いでは、改めて自分が目標に対してどの程度できていると思うか、ワークシートで自己分析を行いました。その後、よりよく5年生が成長するための自身の考えを交流しました。例えば、生活面では「整理整とんをみんなでしたい。常に維持できるようなことをしたい。みんなにわかりやすいようにしたい。」という声が上がりました。また、「学年で大掃除大会をしたらいいんじゃない？」と具体的な取り組みを提案してくれる子もいました。

チーム探究（6月30日）のふりかえり（一部抜粋）

「特に僕たちのテーブルでは人間関係のことを話しました。僕の意見は「最高学年として低学年のお手本となり、できるだけみんなが仲良くなれる5年生になってほしい」と思っています。まずは、最高学年の自覚を持って生活をして欲しいし、自分ももっと最高学年として生活をしていきたいと思っています。（1組）

「今日はグループのみんなで話し合いました。今このシートを見てみると自分が今現在どのようなことをしているのかが一瞬で見れて良いシートだなと思いました。シートに僕はいろいろかけてよかったと思います。今日からこれからやることがはっきりしたと思ったのでよかったです。自分の問いも解決できたのでとても良かったと思いました。」（2組）

「今日は、自己分析の紙を書きました。あまり、よくないところも出てきました。1番治したいことは、態度を変えないこと。なぜなら、低学年、高学年に態度を優しくしてしまうけど、同じ学年の子には、冷たい態度をとってしまいます。それを、治していきたいです。」（3組）

様々な意見が出る中で、「悪いことを直すのも大事だけど、僕らの良いところこそどんどん伸ばしていけるようにもしたいよね。」と、ある子と言ってくれたことも印象的です。今回の活動を通して、できていない事や弱みだけに目を向けるのではなく、できている事・強みがさらに伸びて一人ひとりが輝けるよう、一緒に取り組んでいきたいと感じました。これからも、焦らずじっくり取り組み、一人ひとりが自分事として活動できるよう、支援をしていきたいと思っています。

以下、前回のチーム探究（6月30日）のダイジェスト写真です。
当時の雰囲気を少しだけですがお届けします。





